佐佐木麻 SASAKI ASA
ものづくりを通じて、ものづくりの人たちの、ものづくりの人たちによる、ものづくりの人たちのための、ものづくりのための、ものづくりのものづくりを、ものづくりしています。
フォローする

ITS Content 2023/24 ITS Arcademy Award 佐藤百華

佐佐木麻 SASAKI ASA
2024年1月29日 07:00

今年、ITS東京のオフィシャルウェブサイトで「ITS Contest 2023/24」のアワード「ITS Arcademy Award」に輝いたのは、ドイツ国籍のアーティスト**佐藤百華**さんの作品でした。ITSのアーカイブ作品として、ITSのアーカイブ作品の中から、ITSのアーカイブ作品の中から、ITSのアーカイブ作品の中から

い、そんなチャンスが格段につかみやすい環境なので。

あとは、感覚的にこういうものがイケてるとか流行ってるというのが日本と全然違うので、着こなしとか化粧の仕方とか影響されて変わっていくし、日本の良さや足りないところも客観的に見える機会にもなったので、若いうちにそういう経験っていっぱいしておくべきだなとすごく思ったので、おすすめですね。

> *公益財団法人 神戸ファッション協会主催の留学支援プログラム。2018年に終了。

ー留学を目標にしている学生もたくさんいます。文化服装学院の先輩でもある佐藤さんから、学生時代の過ごし方についてアドバイスをいただけますか？

自分のために時間を割けるのが学生時代の特権。自分のやりたいモノづくりがあるのであれば、授業の課題と絡めていくことが大事だと思います。自分の中でテーマを決めてしまって、よかった点を次の課題でもっと広げたり深めたりする。自分の学生時代は、ポートフォリオがあるコンテストしかやっていなくて、それが自分の考えを整理するきっかけになりました。

Vogue Italia 2017年9月号 Vogue Talentsに掲載された佐藤さんの卒業制作

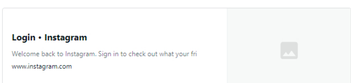
ー日本に帰国してからブランドをスタートする詳細なお話が、FASHIONSNAP.COMで連載されていて、とてもリアルで参考になるなと思っていました。

実は、あれは持ち込み企画なんです。ブランドを始めてみて難しいと思っている点が、認知度を上げること。でも、あまり短期的な目標を決めすぎると、ブランドらしくない方法をとってしまうことがあるので、長く続けるうえでどういうアプローチをしていくのがいいのか、ひとつひとつ丁寧に考えていくのが大事だと思うんです。そうして自分が好きな世界観を共有できる人に届いて欲しいと、1年取り組んだ結果、いろいろな反省点も見つかって、今は次の展示会に向けて準備を進めているところです。

ーこれからやりたいことを教えてください。

ユークロニアを始める前、一人ひとりのために、その人の大切な記憶を守るためのお洋服を作っていました。その人の思い出や家族との絆を保管するためのお洋服や、記憶に残る特別な場で着るお洋服にレースを添えて作ってお渡しするということが、ブランドのコンセプトの根幹となっています。そういった1点もの、オートクチュールのようなことも、ブランドなりのサステナブルな取り組みだと考えています。

また、私自身もレースづくりを習っていますが、レースづくりは非常に難しく、長年の経験が必要です。現在の職人さんたちは高齢者が多く、若い世代の参加が少ないため、この美しい伝統が廃れていくのを心配しています。そこで、ブランド主体でレースづくりのワークショップや教室を開きたいと考えています。同じ趣味を持つ人々が集まり、レースを楽しみながら、好きなお茶やお菓子を交換したり、美術館情報を共有したりする場を提供する、そんな秘密の花園のようなコミュニティを作りたいというのが私の夢です。でもそれは壮大な目標なので、まずはブランドの認知度を上げ、順番に進めていければと思っています。



ITS - International Talent Support

主催：Fondazione ITS

開始年：2002年

開催地：イタリア・トリエステ

応募資格：ファッション学校の最終学年在籍者、卒業生、若手デザイナー（2名までのチーム可）

応募作品：5〜8体のコレクション

提出作品：デジタルポートフォリオ

賞：ITS Arcademy Award: €15,000（約 244万円）と 6 ヶ月間のインターンシップ

ITS Digital Fashion Award: €3,000（約 49 万円）

OTB Award: €10,000（約 162 万円）

Swatch Art Peace Hotel Award: €10,000（約 162 万円）他にも賞あり